

# 「注意と認知」研究会 第22回研究会プログラム

(2024年3月3日～5日 サイプレスホテル名古屋駅前) 2024.1.31版

受付		13:20-13:50	
3 SUN	知覚と認知 一般 (1)	14:00-14:30	1 自閉症傾向、視覚過敏及びコントラスト閾は視覚的不快感に影響するのか？ 松本純奈 (金沢大学)
		14:30-15:00	2 認知症高齢者と介護者の相互行為における注意の組織化 細馬宏通 (早稲田大学)
	注意や記憶の 特性	15:15-15:45	3 ヴィジランスの減衰に係る課題目標馴化説の再検証 植田航平 (九州大学)
		15:45-16:15	4 前頭前野のGABAとグルタミン酸の濃度は持続的注意に影響する 近藤洋史 (中京大学)
		16:15-16:45	5 抑うつ傾向と未来思考時の視点の関連 戸村友香 (山形大学)
【特別講演】	17:00-18:00	20 認知バイアス—その神経機序理解と臨床応用 袴田優子 (富山大学)	
懇親会			
4 MON	感覚間 相互作用	9:30-10:00	6 物体画像の視認性が記憶における視聴覚相互作用に及ぼす影響 牧島海渡 (北海道大学)
		10:00-10:30	7 視聴覚入力間の空間一致性は時間ずれへの急速再較正に影響しない 宇野究人 (東京大学)
		10:30-11:00	8 視触覚間の物体形状の一致性に基づく視覚的注意の非自発的シフト 中島亮一 (京都大学)
		11:00-11:30	9 身体化された物体の心的回転は観察者の身体の向きに左右されない—空間的身体化説への反証— 武藤拓之 (大阪公立大学)
屋食 (各自) ・運営委員会			
顔の知覚と認知	14:00-14:30	10 順応によって変化した顔表象の可視化 嶺本和沙 (京都大学)	
	14:30-15:00	11 空間周波数帯域間での人間らしさの知覚の不一致は不気味さを喚起するか 伊藤資浩 (中京大学)	
	15:00-15:30	12 顔表情から読み取られる快感情と物理的・概念的な上空間情報の結びつき 澤田玲子 (京都大学)	
オブジェクト 認知と情景理解	15:45-16:15	13 視点切替えにおける180度ルール違反がシーン理解に及ぼす影響 前澤知輝 (NHK)	
	16:15-16:45	14 大域的/局所的オブティクフローの相互作用による視線誘導効果 畑美緒 (早稲田大学)	
	16:45-17:15	15 色が情景のカテゴリー判断に及ぼす影響の時間的特性に関する検討 大久保らな (東京大学)	
【特別企画】	17:30-18:00	21 学術のどうこう？ 河原純一郎 (北海道大学)	
夕食 (ホテル近くのお店を予約してあります。自由参加)			
5 TUE	知覚と認知 一般 (2)	9:30-10:00	16 多項処理木モデリングによる道徳的ジレンマ判断における文化差の検討 上田祥行 (京都大学)
		10:00-10:30	17 数量判断課題における物体の色の効果 李琦 (京都大学)
	感覚間協応と 共感覚	10:30-11:00	18 共感覚者におけるクロスモーダルな意味処理の特異性に関する検討 原島小也可 (東京大学)
		11:00-11:30	19 感覚間協応によるピッチ発声音声の音響特徴変調 鈴木悠介 (立命館大学)